

NO. 60

March.2025



Sagami Women's University

後援会会報



Supporters Bulletin



相模女子大学 後援会
相模女子大学短期大学部

発行日/2025年3月24日 発行所/相模女子大学・相模女子大学短期大学部後援会
編集責任者/後援会事務局 住所/〒252-0383相模原市南区文京2-1-1 電話/042-747-9067

目次

後援会からのお知らせ 2024年度役員会報告／相生祭「後援会活動紹介コーナー」開催報告／2024年度事業報告／「卒業記念パーティー」開催報告／卒業生に化粧筆(熊野筆)をプレゼント	1～2	後援会で助成している学生の活動紹介/ 創立125周年のお知らせ クラブ活動(弓道部・マンドリンクラブ・アイドルダンスクラブ)／大学祭実行委員会／地域活動	7～8
2024年度「オンライン報告会(就職編)」動画配信について	3	2024(令和6)年度 課外活動奨励賞受賞者一覧	9
就職支援課より 就職トピックス／就職支援Q&A	4	2024(令和6)年度 科学研究費助成事業採択状況	10
学修・生活支援課より 学修上(履修・成績)の留意点／保健センターより／学生相談室より／2025年度出願可能な奨学金制度のご案内／2025(令和7)年度学年暦(大学)(短大)	5～6		

後援会からのお知らせ

2024年度役員会報告

日時:2024年7月13日(土)13:00～13:40
常任理事会 (対面形式で実施)
 日時:2024年8月2日(金)～8月8日(木)
理事会 (書面形式で実施)

議事 ①2024年度オンライン報告会(就職編)の内容について
 ②2024年度相生祭の対応について
 ③2024年度春学期卒業式について
 ④2024年度防災セット配布方法について
 ⑤6月15日実施の教育懇談会「学科毎の懇談会・教育個別面談」について(報告)
 ⑥防災セット配布について(報告)
 ⑦2024年度新役員について(報告)

日時:2024年9月21日(土)9:30～10:10
常任理事会 (対面形式で実施)

議事 ①相生祭の対応について(提案)
 ②卒業記念品について(提案)
 ③卒業記念パーティーについて(提案)

日時:2024年9月21日(土)10:30～11:50
理事会 (対面形式で実施)

日時:2025年2月8日(土)9:30～10:22
常任理事会 (対面形式で実施)

議事 ①2024年度 事業報告(案)について
 ②2024年度 予算執行状況及び今後の執行計画(案)について
 ③2025年度 後援会行事日程(案)について
 ④2025年度 教育懇談会(学科毎の懇談会・教育個別面談・オンライン報告会(教育編))の開催(案)について
 ⑤2025年度 オンライン報告会(就職編)の開催(案)について
 ⑥2025年度 事業計画(案)について
 ⑦2025年度 概算予算(案)について
 ⑧2025年度 新役員の募集状況及び役員改選(案)について
 ⑨その他

日時:2025年2月8日(土)10:35～11:40
常任理事会 (対面形式で実施)

相生祭「後援会活動紹介コーナー」開催報告

今年度の相生祭では、展示や動画上映により後援会の活動を紹介し、来場者に大学の模擬店等で使用できる100円分の補助券を配付しました。また、共催の公益財団法人かながわ健康財団とクイズラリーを共同実施しました。

日時:2024年11月3日(日・祝)、4日(月・振休)10:30～15:00

「後援会紹介コーナー」
 後援会の活動に関する展示、オンライン報告会(教育編)の動画上映等

「女性の健康づくりフェア」
 アニメ『はたらく細胞』のキャラクターを活用したがん予防クイズラリー・糖化度測定等



2024年度事業報告

相模女子大学・相模女子大学短期大学部に対する援助

- ① 教育研究活動の充実を図る**
 後援会図書購入助成費取扱要項に基づき電子書籍を購入し、さらに、学外から電子書籍やデータベースを閲覧できるシステム「EZproxy」を継続しました。
- ② 学生の福利厚生を充実を図る**
 クラス会開催費として、経費の一部を補助しました。また、卒業式当日に卒業記念品である化粧筆を贈り、卒業記念パーティーを開催しました。
- ③ 学生の課外活動の充実と活性化を図る**
 5団体のクラブに対し、活動に必要な用品の購入を助成しました。
- ④ 学生の課外活動における顕著な活動を顕彰する**
 課外活動の分野で顕著な活躍をした個人と団体を大学が顕彰することに伴い、卒業式で副賞を授与しました(2024年度課外活動奨励賞の受賞者並びに表彰内容・理由はP.9に掲載)。

- ⑤ 学生の就職活動を支援する**
 就職に関する各種講座やイベントの経費の一部を助成しました。
 ・低学年向けキャリアガイダンス
 ・自分の特性・ベースに合わせた就職活動の進め方ガイダンス
 ・特例子会社紹介セミナー
 ・就活冬メイク講座 等

刊行物(PDFでの電子発行)について
 会報59号を2024年9月に発行、会報60号を2025年3月に発行(今号)し、後援会ホームページに掲載しました。

災害対策助成費について
 地震等の災害に大学に滞留せざるを得ない学生のための「非常用防災セット」を650セットを購入しました。

弔慰費について
 会員のご不幸は、大学6名でした。会則により弔意を表しました。ここに謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

「卒業記念パーティー」開催報告

卒業記念パーティーの助成を行いました。

日時:2025年3月7日(金) 二部入れ替え制

「大学で過ごす最後の時間を楽しく過ごしていただきたい」という職員の方の思いが伝わる和やかなパーティーで、396名の卒業生が参加され、多くの笑顔や涙が見られました。



後援会から

卒業記念品として化粧筆(熊野筆)をプレゼント

2022年度よりご好評いただいている化粧筆(熊野筆)を卒業生に贈呈しています。新しい環境での活躍を祈念いたします。



2024年度 「オンライン報告会(就職編)～昔とは違います!今どきの就職活動～」 動画配信について

毎年ご好評をいただいている「オンライン報告会(就職編)」の動画を今年度も公開しました。オンデマンド配信ですので、ご都合の良いお時間にご視聴いただけます。保証人の皆様、また学生の皆様もこの機会にぜひご覧ください。



「内定獲得者へのインタビュー」動画撮影の様子

開催概要

動画配信期間

2024年11月29日(金)～2025年11月予定

配信内容

① 学長メッセージ

相模女子大学・相模女子大学短期大学部 学長 田畑 雅英

② 講演「現在の就職活動と保護者ができる効果的な関わりとは」(約50分)

講師：株式会社マイナビ 大学広報統括本部 東日本統括部 関東ブロック ブロック長 佐藤 真麻氏

③ 内定獲得者へのインタビュー(1名につき約15分)

日本語日本文学科 4年 ……木田 遥子
英語文化コミュニケーション学科 4年 ……狩野 あい
子ども教育学科 4年 ……小川 愛紗
メディア情報学科 4年 ……内田 彩音
生活デザイン学科 4年 ……小松 未奈
社会マネジメント学科 4年 ……野田 桃葉
人間心理学科 4年 ……杉崎 仁美
健康栄養学科 4年 ……尾倉 初音
管理栄養学科 4年 ……矢吹 輝実
食物栄養学科 2年 ……加藤 晴奈
(公務員合格者)日本語日本文学科 4年 ……五十嵐 美織

④ 編入学決定者へのインタビュー(約10分)

食物栄養学科 2年 ……伊達 帆香

⑤ 報告「本学の就職状況と就職支援課の取り組み」(約35分)

報告者：夢をかなえるセンター 就職支援課長 武石 聡子

※保証人の方の就職個別相談は適宜行っております。
ご希望の際は、就職支援課まで直接ご連絡ください。

問い合わせ先 就職支援課 **042-742-1734**

インタビュー内容(抜粋)

Q. 今やっておくべきことはありますか？

- 何でも挑戦してみるということです。やらないで後悔してしまうと、後から後悔してもやり直すことは難しいと思いますが、今取り組めることは無限にあると考えています。今ある時間を大切にしてほしいと思います。
- 楽しんで力を注げることを一つ作るのだと私は思います。例えば面接であれば、自身が話した内容について深掘りされることがよくあります。その時に、特に好きでもなく力を注いでいなかった場合には、質問されたとしても答えるのが非常に難しいと思います。なので、楽しみながら力を注げることを一つ見つけておくことが大切だと思います。大学内であれば部活動やオープンキャンパスのスタッフ活動、学外であればアルバイトや趣味、習い事など身近に体験できるものが沢山あると思うので、是非今からでも探してみてください。

動画視聴方法

郵送にてご案内しております「開催のご案内」に記載のURLより「オンライン報告会」のトップページを表示し、視聴者情報登録を行った上でご視聴ください。

URLがご不明の方は後援会事務局までお問い合わせください。

※同URLより「オンライン報告会(教育編)～輝くサガジヨ生に会いたい!!～」もご視聴いただけます。

後援会事務局 連絡先
Mail:kouenkai@mail2.sagami-wu.ac.jp
(月・水・金10:00～18:00)

就職支援課より

問い合わせ先

就職支援課 **042-742-1734**

… 就職トピックス …

《ジョブ型雇用について》

ジョブ型雇用とは、職務内容や役割に基づいて雇用契約を結ぶ雇用形態のことです。この方式では、従業員が担当する業務が明確に定められ、成果主義が重視されます。職務ごとに求められるスキルや専門性が評価されるため、異なる企業間での転職がしやすい点が特徴です。近年、日本でもジョブ型雇用が注目されています。従来のメンバーシップ型雇用(終身雇用や年功序列)からの転換が進み、企業はより専門性の高い人材を求める傾向にあります。ただし、ジョブ型雇用はまだ日本全体では一般的とは言えず、多くの企業が従来型を維持しています。それでも、グローバルな視点を持つ企業や、新卒採用でもジョブ型雇用を導入する企業が増加しており、学生にとっても注目すべき雇用形態です。

ジョブ型雇用を選ぶ際、以下の3点に注意する必要があります。

●スキルの自己管理と向上

ジョブ型雇用では、職務に必要なスキルや専門性が重視されるため、学生は自分の強みを早期に見つけて磨くことが重要です。プログラミングやデザイン、マーケティングなどの専門知識を深め、競争力を高めましょう。

●キャリアパスの明確化

転職や職務変更が一般的であるため、自分のキャリア目標を具体化することが求められます。どの分野で活躍したいかを考え、それに必要な準備を計画的に進めることが大切です。

●柔軟な働き方への適応

ジョブ型雇用ではフレックスタイムやリモートワークが普及している場合が多いため、自己管理能力やコミュニケーションスキルを高める必要があります。柔軟な働き方に適応する姿勢も重要です。

ジョブ型雇用は、専門性と成果が評価される働き方です。ジョブ型雇用の特徴を理解し、自分のスキルやキャリアをどのように発展させるかを考えたうえで、就職活動を進めることが重要となります。

就職支援 Q&A

近年の就職活動は「早期化」および「長期化」が進んでいると言われています。学業をおろそかにしてまで就職活動を優先するのは本末転倒ですが、就職活動のスケジュールや動きにある程度対応することは必要です。低学年のうちから自身のキャリアについて意識を高め、就職活動の流れに乗り遅れないよう準備を進めることが重要です。今回、就職活動について多く寄せられるご質問について、Q&A形式でご紹介いたします。

Q. 志望動機を書くことができません。どうしたらいいですか。

A. 志望動機が書けない主な原因は、「自己分析が不十分」「企業研究が不足している」「正解」を求めすぎている」「興味が本当ではない」ということが挙げられます。自分がどんな強みを持ち、どんなことに興味があるのかが興味だと、企業でやりたいことや志望理由を明確にできません。しっかりと自己分析を行いましょう。また、応募先の企業の特徴や事業内容を理解していないと、自分との接点や具体的な志望理由を見つけるのが難しくなります。企業研究をしっかりと行いましょう。また、「完璧な志望動機」を書かなければならないとプレッシャーを感じ、書き出せなくなることがあります。まずは書き始めてみるのが大切です。文章の修正を重ねるうちに、内容が洗練されていきます。ただし、その企業や業界に興味がない場合、具体的な動機が浮かばないことがあります。この場合は、なぜその企業を選んだのかを自問する必要があります。いずれの場合も、就職支援課では丁寧に寄り添った支援を行っています。志望動機が書けずに困っていたら、一人で悩まずに就職支援課に相談に来てください。

Q. グループディスカッション(GD)について教えてください

A. グループディスカッション(GD)は、複数の受験者が1つのテーマについて話し合い、結論を導き出す形式の選考方法です。就職試験では、協調性やコミュニケーション能力、論理的思考力などを評価する目的で行われます。主に以下の4つのポイントが評価されます。実際に議論する際には、「自分の意見ばかり主張しない」「話しすぎない・話さなさすぎない」「議論を脱線させない」「タイムマネジメントを意識する」ことが大切です。他者の意見を否定せず、建設的な議論を心がけましょう。また、発言量が極端にならないよう、バランスを意識してください。議論の最中にはテーマや目的から外れないよう注意し、必要なら話を軌道修正する役割を担いましょう。限られた時間内で結論を出すことが求められるため、時間配分を考えながら進めましょう。GDは事前準備と練習によって自信を持って臨むことができます。一人で練習するのは難しいですが、就職支援課では模擬ディスカッションの体験講座を複数実施しています。これらを積極的に活用し、実践的な経験を積みましょう。練習を重ねることで、本番に自信を持って臨むことができるはずです。

学修・生活支援課より

学修上(履修・成績)の留意点

履修登録の際には、所属する学部学科および資格課程において定められている履修方法、各授業科目のシラバスを参照しながら履修計画をたてます。各セメスターで履修登録できる単位数は24単位で、年2回履修登録期間があります。履修登録はWeb上で行います。履修登録をしていないと授業に出席していても評価対象となりません。学生には履修登録確認日に、必ず学生ポータルサイト「Smile Sagami」で、登録状況を確認するよう指導しています。また、進級(栄養科学部のみ3年次への進級要件あり)、卒業の

ためには各学科で定めている授業科目や単位数を修得しなければなりません。同一学科でも入学年度(カリキュラム年度)によって進級や卒業要件が異なります。詳細は「Student Handbook」で確認できます。

なお、成績は「Smile Sagami」で発表します。保証人宛には「成績通知書」をお送りしています。

問い合わせ先 **学修・生活支援課**
042-813-5069

保健センターより

学生のみなさんに健康でいきいきとした学生生活を過ごしていただくため、健康に関する相談に応じています。体調を崩したとき、不安を感じたり精神的に疲れたときなど、気軽に保健センターを利用するようお勧めください。なお、保護者の方からのご相談にも応じていますのでご利用ください。

定期健康診断

全学年を対象に定期健康診断を実施しています。学生健康診断の実施は学校保健安全法で定められており、病気の予防措置などを目的としています。健康診断の結果によっては呼び出しを行います。「Smile Sagami」の個人宛てお知らせを必ず確認するようお声がけください。学生本人に連絡が取れない場合は保護者に連絡する場合があります。

学校感染症予防について

大学生活を安全に過ごすためのひとつとして、感染予防対策をお願いしています。手洗い・手指消毒、マスク着用や咳エチケットなどの基本的な感染予防対策の徹底を、ご家庭でもご指導ください。学校感染症感染時は出席停止です。

上記に該当する場合は保健センターへの連絡をお願いいたします。詳しくは保健センターへお問い合わせください。

また、大学での集団感染防止のため、以下の感染症については母子手帳で予防接種歴の確認をお願いします。抗体価が十分でない場合は予防接種をご検討ください。

- 麻疹 ●風疹 ●水痘(みずぼうそう)
- 流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)

※MRワクチンは麻疹と風疹の混合ワクチンです。

※一部の学科では、抗体価が不十分な場合は実習に参加できません。

健康支援

- 病気やけがの応急手当 ※医療機関の受診が必要な場合があります。保険証は本人が所持するようご指導ください。
- 感染症対策、生理痛、アルコール、禁煙、薬物依存などに関連した保健活動
- 学校医(内科 1回/月)、精神科医(1回/週 ※授業期間のみ 要予約)による健康相談(医師不在時はスタッフがお話を伺います) ※相談日など詳細については「Smile Sagami」でお知らせしています。
- 病気や障がいによる学校生活上の支援

学生教育研究災害傷害保険

全学生を対象に、Bタイプ(1200万)通学特約に加入しています。正課中の講義、実験、実習、学校管理下で実施される行事中に生じたけがが対象となります。けがをした際の事故受付はアプリからの登録となります。個人で任意加入する学生総合保険などについては大学への申請は不要です。ご自身で保険会社に問い合わせをお願いします。詳細については、入学時配付の『学研災公式アプリ(SkettBook)登録案内用チラシ(兼加入者のおしりチラシ)』をご覧ください。

問い合わせ先 **保健センター**
042-747-9072 (直通)

開室時間:平日9:00~18:00/9:00~17:00(授業・テスト期間外)
土曜日9:00~12:30 場所:夢をかなえるセンター3階

感染報告フォーム(コロナ・インフルエンザ用)

URL: <https://req.qubo.jp/sagami-wu/form/coronareport>

学生相談室より

学生相談室では、学生がこころ豊かに充実して学生生活を送ることが出来るよう、臨床心理士の資格をもったカウンセラーがしっかりとお話を伺い、サポートしていきます。

対面相談、電話相談、遠隔(オンライン)相談が可能です。

※遠隔(オンライン)相談は学生が対象です。

- 学業について ●進路について ●心の健康について
- 対人関係について ●生活上の問題について
- サークルについて ●その他どのようなことでも構いません

特に相談がなくても、談話室でゆっくりと静かな時間を過ごすことができます。気軽に学生相談室を利用するようお勧めください。ご家族からの学生についてのご相談もお受けします。相談内容について秘密は守られます。

問い合わせ先 **学生相談室** **042-746-6672** (直通)

開室時間:月~金 10:00~17:00 場所:1号館2階

遠隔相談申し込みフォーム

URL: <https://req.qubo.jp/sagami-wu/form/ftHzMKs0>

2025年度 出願可能な奨学金制度のご案内

- 1 日本学生支援機構給付奨学金および学費減免(修学支援新制度)
- 2 日本学生支援機構貸与奨学金
- 3 日本学生支援機構奨学金(家計急変向け)
- 4 相模女子大学奨学金
- 5 相模女子大学緊急給付奨学金
- 6 相模女子大学同窓会翠葉卒業時緊急奨学金

※詳細は、本学ホームページ(ホームページ > キャンパスライフ > 奨学金)をご覧ください。
併せて、日本学生支援機構奨学金については、日本学生支援機構(JASSO)ホームページにてご確認ください。

問い合わせ先 **1~5**学修・生活支援課: **042-813-5069** **6**同窓会翠葉事務局: **042-742-1737**

2025(令和7)年度 学年暦【大学】

2025(令和7)年	9月17日(水) 秋学期履修科目追加登録期間(二次募集)
3月21日(金)~25日(火) 春学期Web履修科目登録期間(在学生)	9月18日(木) 秋学期他学部・他学科科目登録(三次募集)
4月1日(火)~3日(木) 新入生オリエンテーション、 春学期Web履修科目登録指導・ 登録期間(新入生)	9月22日(月) 秋学期授業開始
4月2日(水)~4日(金) 健康診断(在学生)	9月23日(火)祝日(秋分の日) 祝日授業
4月4日(金) クラス会(新入生)	9月29日(月) 秋学期履修科目追加・訂正
4月7日(月) 健康診断(新入生)	10月13日(月)祝日(スポーツの日) 祝日授業
4月8日(火) 入学式 春学期Web履修科目確認日	10月18日(土) 創立記念日
4月9日(水) 春学期履修科目追加登録期間(二次募集)	11月1日(土)~4日(火) 相生祭(1日準備、4日片付け) 授業なし
4月10日(木) 春学期他学部・他学科科目登録(三次募集)	11月24日(月)振替休日(勤労感謝の日) 祝日授業
4月14日(月) 春学期授業開始	12月23日(火) 秋学期前半授業終了
4月21日(月) 春学期履修科目追加・訂正	12月24日(水)~1月13日(火) 冬季休業
4月29日(火)祝日(昭和の日) 祝日授業	2026(令和8)年
5月28日(水) 授業なし(併設体育祭)	1月14日(水) 秋学期後半授業開始
7月21日(月)祝日(海の日) 祝日授業	1月21日(水)~27日(火) 秋学期最終授業週および 秋学期末定期試験期間
7月24日(木)~30日(水) 春学期最終授業週および 春学期末定期試験期間	1月27日(火) 秋学期授業終了
7月30日(水) 春学期授業終了	1月28日(水)~30日(金) 秋学期末定期試験期間
7月31日(木)~8月2日(土) 春学期末定期試験期間	2月17日(火) 卒業年次成績発表
8月4日(月)~9月21日(日) 夏季休業	3月6日(金) 卒業式
9月5日(金) 春学期成績発表、 在学生オリエンテーション	3月10日(火)~11日(水) 在学生成績発表 在学生オリエンテーション
9月8日(月)~10日(水) 秋学期Web履修科目登録期間	3月24日(火)~26日(木) 春学期Web履修科目登録期間(在学生)
9月12日(金) 春学期末卒業式	
9月16日(火) 秋学期Web履修科目確認日	

2025(令和7)年度 学年暦【短大】

2025(令和7)年	9月17日(水) 秋学期履修科目追加登録期間(二次募集)
3月21日(金)~25日(火) 春学期Web履修科目登録期間(在学生)	9月18日(木) 学内単位互換科目登録(三次募集)
4月1日(火)~3日(木) 新入生オリエンテーション、 春学期Web履修科目登録指導・ 登録期間(新入生)	9月22日(月) 秋学期授業開始
4月2日(水)~4日(金) 健康診断(在学生)	9月23日(火)祝日(秋分の日) 祝日授業
4月4日(金) クラス会(新入生)	9月29日(月) 秋学期履修科目追加・訂正
4月7日(月) 健康診断(新入生)	10月13日(月)祝日(スポーツの日) 祝日授業
4月8日(火) 入学式 春学期Web履修科目確認日	10月18日(土) 創立記念日
4月9日(水) 春学期履修科目追加登録期間(二次募集)	11月1日(土)~4日(火) 相生祭(1日準備、4日片付け) 授業なし
4月10日(木) 学内単位互換科目登録(三次募集)	11月24日(月)振替休日(勤労感謝の日) 祝日授業
4月14日(月) 春学期授業開始	12月23日(火) 秋学期前半授業終了
4月21日(月) 春学期履修科目追加・訂正	12月24日(水)~1月13日(火) 冬季休業
4月29日(火)祝日(昭和の日) 祝日授業	2026(令和8)年
5月28日(水) 授業なし(併設体育祭)	1月14日(水) 秋学期後半授業開始
7月21日(月)祝日(海の日) 祝日授業	1月21日(水)~27日(火) 秋学期最終授業週および 秋学期末定期試験期間
7月24日(木)~30日(水) 春学期最終授業週および 春学期末定期試験期間	1月27日(火) 秋学期授業終了
7月30日(水) 春学期授業終了	1月28日(水)~31日(土) 秋学期末定期試験期間
7月31日(木)~8月4日(月) 春学期末定期試験期間	2月17日(火) 卒業年次成績発表
8月5日(火)~9月21日(日) 夏季休業	3月6日(金) 卒業式
9月5日(金) 春学期成績発表、 在学生オリエンテーション	3月10日(火)~11日(水) 在学生成績発表 在学生オリエンテーション
9月8日(月)~10日(水) 秋学期Web履修科目登録期間	3月24日(火)~26日(木) 春学期Web履修科目登録期間(在学生)
9月12日(金) 春学期末卒業式	
9月16日(火) 秋学期Web履修科目確認日	

後援会で助成している学生の活動紹介

クラブ活動

弓道部

弓道部は、主に週に2-3回アーチェリー場にて活動を行っています。神奈川県学生弓道連盟、全日本学生弓道連盟に所属しているため、年に数回ほど大会にも出場しています。また、年に4回行われる神奈川県地方審査会にも出場することが可能です。

近年はコーチからのご支援もあり、大学近くの弓道場で他大学さんとの合同練習、夏や冬には合同合宿に参加しています。学校内での練習の他に、体配や所作を練習できる環境も整いつつあるので、実力を発揮できる機会も多く、モチベーションも高められます。さらに、新成人が参加できる「三十三間堂大大会」の出場も可能であるため昇段や大会、個人のレベルアップと、各々の目標に向かって日々練習に励んでいます。学年問わず



2024夏合宿の様子です！

楽しい雰囲気の中でのバイトや個人の予定に合わせてながら、自分に合ったペースで気楽に長く続けることが出来ます。また、弓を引くための道具は一式そろっているため、初心者の方も安心して始められます。

弓道部 部長 山吉 夏帆

マンドリンクラブ

イタリア発祥の弦楽器マンドリンは、ピックで弦をはじいて演奏します。癒される可愛らしい音色が特徴的ですが、人数が増え音の厚みが増すと迫力のある豊かな音色を奏でます。マンドリンの他にマンドラテノール、マンドロンチェロ、クラシックギター、コントラバスの5つの楽器でマンドリンオーケストラとして活動をしています。部員は全員が初心者で入部していますが、OGの皆様にご指導いただきながら日々練習を重ねています。年に一度開催している定期演奏会は自分たちで選曲しホールを決め、ステージ演出も考えます。他にも他大学とのジョイントコンサート、入学式・卒業式でのオープニングセレモニー、ホームカミングデーやオープンキャンパス、デイケアでの演奏など、様々



夏合宿の練習風景

昨年12月に行われた第59回定期演奏会

な演奏の場があります。イベントも多くあり、夏合宿では海の近くの合宿所で美味しいご飯を食べながら、短期間でたくさん練習して技術を磨きます。相生祭では模擬店を出店し、みんなで楽しく活動をしています。仲が良いのが自慢の部活です。今年開催予定の定期演奏会は60回目を迎えます。これからも多くの人にマンドリンの音色を知ってもらえるように、歴史のあるクラブを繋いでいきます。

マンドリンクラブ 部長 石原 花凜

アイドルダンスクラブ

私たちアイドルダンスクラブは、主に日本の女性アイドルの楽曲の振り付けをコピーして踊っており、年2回ある大会へ出場したり、外部イベントに出演しています。部員はほとんどがダンス未経験者ですが、アイドルが好き、人前に出るのが苦手な自分を変えたい、などそれぞれ思いを持ったメンバーが集まり、現在は15名で活動しています。大会では、「UNIDOL」という女子大生のアイドルコピーダンスサークルによるダンス大会に出場しています。審査員審査では表現力や演出、魅了度などがあり、ダンスが上手なチームが必ずしも勝つという訳ではないところが、UNIDOLの面白いところだと感じます。現在は決勝戦進出を目標に日々ミーティングや練習を行っています。外部イベントでは、主に都内のライブハウスで行われるイベントに参



相生祭の様子

大会「UNIDOL」の様子

加し、パフォーマンスをします。また、相生祭では多くの人がステージを見てくださり、好評をいただくことができました。大変なことも多くありますが、ファンの方がくださる温かい言葉が1番のモチベーションになります。一昨年に同好会からクラブへと昇格したアイドルダンスクラブは、更なる成長を目指して日々活動しています。

アイドルダンスクラブ 部長 大澤 咲花

大学祭実行委員会活動

私たち大学祭実行委員会は、年に一度開催される相生祭の成功に向け、活動しています。

主な活動内容は相生祭までの準備と当日の運営です。業務は多岐にわたり、皆様のお手元に届くパンフレットの作成や、出店している模擬店の衛生管理、メインステージの管理、トークショーや学内のイベントの企画運営など幅広く活動しています。また、月に一度ある相生祭会議や展示会・模擬店出店の団体への説明会を実施し、大学祭の進捗状況の確認や、当日のトラブル対応を避ける為、事前に問題を見つけ解決したりなど円滑に運営できるように心がけています。当日にトラブルが起きてしまった場合も、委員会全体で連携し対応しています。少し大変だと感じる部分もありますが、

委員会全体で力を合わせ、最高の相生祭を作り上げるために、日々努力をしています。大学生活の中で、委員会活動だからできる経験があります。この活動を通して、チームワークやコミュニケーション能力、問題解決能力などが身に付けられたと実感しています。また、参加してくれる方がいての委員会です。足を運んでくださった方々ありがとうございました。来年度も楽しい相生祭を作っていきますので、楽しみにお待ちください。



大学祭実行委員会集合写真

大学祭実行委員会 委員長 寺崎 夢乃

地域活動

新潟県佐渡市との連携について

夢をかなえるセンター連携教育推進課では、全学生を対象に、全国各地をフィールドにした地域連携活動「Sagamiチャレンジプログラム」を正課外活動の一環として実施しています。今回は、新潟県佐渡市にて伝統芸能を体験し、その豊かな歴史や文化について深く学びながら、その魅力を広く発信することを目的に活動を行う「佐渡プロジェクト」を紹介します。毎年、8月・9月に現地を訪問し、地域の方から「鬼太鼓」や能などの伝統芸能を学び、地元イベントで披露しています。現地では、伝統芸能を通じて地域住民との交流を深めるとともに、地域が抱える課題について意見交換を行い、今後の活動に活かすためのアイデアを共有します。また、現地訪問で得た学びや経験を基に、首都圏で開催される佐渡PRイベントでの運営ボランティア



「夏の彩典 たち芸能祭」実行委員会の皆様と

能のお稽古の様子

やSNSを活用した情報発信など、学生視点での魅力発信活動を行っています。さらに、今年度は初めての試みとして、夏の活動で築いた地域とのネットワークを基に、2月に現地を再訪し、市の花「トビシマカンゾウ」を活用した商品開発や冬の佐渡の魅力伝える取材・撮影を行う予定です。

今後とも、後援会会員の皆様におかれましては、学生の地域連携活動や国際教育へのご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

夢をかなえるセンター 連携教育推進課 三木 若葉

大学からの
お知らせ

相模女子大学創立125周年を記念し、特設サイトを開設しました

特設サイトでは「学園のあゆみ」「記念事業」「学園へのメッセージ」「キャンパス整備事業」「125周年記念誌」「記念事業募金」を掲載しています。記念事業やキャンパス整備事業、記念誌については、2025年を迎え、今後更に事業を進めてまいります。その様子は、特設サイトをはじめ、大学ホームページや学園ニュース等を通じて、お知らせいたします。また、学園へのメッセージについては、皆さまからの温かいメッセージを募集しております。



応募フォームより
メッセージをお寄せください。

https://www.sagami-wu.ac.jp/info/gakuen_message/

125th Anniversary
since 1900

Sagami Women's University

2025年、相模女子大学は創立125周年を迎えます。



創立125周年記念特設サイト

<https://www.sagami-wu.ac.jp/125th/>

2024 (令和6) 年度 課外活動奨励賞受賞者一覧

この賞は、様々な課外活動の分野で顕著な活躍をした学生(個人および団体)を、
大学と後援会が共同して表彰することにより、広く学生全体の課外活動を奨励することを目的としています。

個人		
個人名	所属学科	表彰内容・理由
阿部 桃子	管理栄養学科 3年	スポーツクライミングの日本代表に選出され多くの世界大会に出場した。 在学中の主な成績:2021年6月 IFSCクライミングワールドカップ ヴィラール(スイス)4位、2021年9月 IFSC クライミング世界選手権(ロシア)10位、2022年7月 第11回ワールドゲームズ パーミングハム(アメリカ)7位 現在は学業に専念しており、休日はパラクライミングのジャッジ等の大会運営やYouTubeライブ配信による大会 解説も行っている。

団体	
団体名(所属学科)	表彰内容・理由
健康栄養学科 有志学生	「栄養士を目指す学生が考えたリウマチ患者さんのための楽チンレシピ」 リウマチ患者の食をサポートするため、専門医の講義や文献等で疾患や患者の生活の困りごとについて学び、缶 詰・乾物やカット野菜を利用して下処理を減らす、電子レンジを利用する等、簡単に作れるレシピを考案した。 レシピは、リウマチ薬のメーカーであるあゆみ製薬のホームページに掲載され、全国の多くの患者に紹介されている。 【参考】 https://www.ayumi-pharma.com/ja/healthcare/rheumatism/recipe/
2024年度相模女子大学中央執行委員会 (英語文化コミュニケーション学科・メディア情 報学科・社会マネジメント学科・食物栄養学科)	今年度は①ドッチビー大会(6月)、②夏休みの川越バスツアー(9月)、③ランチフェス(11月)、④ディズニーテー ブルマナー講座(2月)を企画運営し、その他にも新入生歓迎会や卒業記念品の計画等、学生の交流推進や地域との 関係強化に努めた。学生同士の繋がりが深まることでキャンパスが活気づき、また、地域の方々との関係の深まり は、地元可愛される学園イメージの形成に大いに寄与した。
「Hammin(ハミン)」 (生活デザイン学科)	全ての工程を学生が担当し、2024年度入学式にてファッションショーを開催した。コンセプトは「一歩踏み出す まち」。たんぽぽをモチーフにした衣装で新入生を歓迎し、新入生の学ぶ意欲に強い影響をもたらした。また、本イ ベントの残生地を利用したオープンキャンパス学科企画でのイヤリング制作と前述の衣装展示も行い、来場者が 間近で衣装を見学できるようにした。さらに、テレビ神奈川の「あっぱれ!KANAGAWA大行進(2024年5月11日 放送 相模原市)」にも出演し、大学での楽しい学びをアピールした。
「縁JOY〜ここで出会えた縁と喜び〜」 (生活デザイン学科)	【縁JOY〜ここで出会えた縁と喜び〜】をテーマに以下の活動を行い、地域社会の取り組みにデザインで貢献した。① 梅酒【翠想】の相模原市制施行70周年を記念した特別ラベルをデザインした。②【おーのじかん】(相模大野まちなか 手づくり体験工房)のキャラクターデザインコンテストに参加し、3名の作品が選ばれ、「アートクラフト市」のパンフレッ トに起用された。③【神奈中観光株式会社】のバス運転士、運転指導員、バスガイドの班長バッジのデザイン依頼を受 け、県花のユリがあしらわれた2年生のデザインが採用された。④【リハビリストホーム上溝】(医療法人社団カワサキ) のホームページのデザイン公募への参加依頼を受け、トップ画面、メインビジュアルのイラストを手掛け採用に至った。
オープンキャンパス学生スタッフ (メディア情報学科・社会マネジメント学科・ 人間心理学科)	以下の活動により、オープンキャンパスおよび広報活動に大きく貢献した。①オープンキャンパスにて初めて 「ロケ地紹介ツアー」を行い、当日は60人以上が参加し、タウンニュースに掲載された。②テレビ神奈川の「あ っぱれ!KANAGAWA大行進(2024年5月11日放送 相模原市)」や受験生からの質問回答を主軸としたインス タライブに出演し、本学の魅力をPRした。③有志学生企画「学生トークショー」「展示」「サガジヨマスター」にお いて運営のかじ取りを行うとともに後輩の指導・育成にも尽力した。
「相模女子大学グリーンホール記念ロゴ」 デザインチーム (メディア情報学科)	35周年を迎えるグリーンホール相模大野(相模女子大学グリーンホール・相模大野図書館・南メディカルセン ター)を記念するロゴデザインを30点提案し、最終的に、「発信」「成長」の意味合いを込め、「舞台」と「音量調節 のボリューム」をイメージし、緑と紫のボーダーラインで表現したロゴが選定された。35周年記念ロゴマークは 多くの方に認知され高く評価された。
復興支援学生ボランティア委員会 (英語文化コミュニケーション学科・メディア 情報学科・社会マネジメント学科・人間心理学 科・健康栄養学科・管理栄養学科)	岩手県大船渡市の特産品や観光資源をSNSで発信し、投稿したリアル動画は4万回以上再生され、多くの注目 を集めた。また、大船渡市の菓匠「高瀬」とコラボレーションし、相模原市と大船渡市の名産品を使ったスイーツ を開発し、「相生祭」や相模原市民向けのイベント「まちづくりフェスタ」で販売した。さらに、「椿の学校」という 教育プログラムを開発し、大船渡市内の保育園や本学幼稚部にて、震災や大船渡市の魅力について伝える活動 を行った。これらの活動の様子は、「FMさがみ」等複数メディアに取り上げられた。

2024 (令和6) 年度 科学研究費助成事業採択状況

所属学科	教員名	職位	研究種目・研究課題名
日本語日本文学科	下田 章平	准教授	基盤研究(C) 代表者 美術商・博文堂の研究—中国書画碑帖の日本流入の実態
	高木 信	教授	基盤研究(C) 代表者 室町時代物語をめぐるアダプテーションとインターテクスチュアリティ 基盤研究(C) 分担者 玉里文庫本『古筆源氏物語』の本文と伝来の研究
	宮原 志津子	教授	基盤研究(C) 代表者 公共図書館員のコンピテンシー獲得を目的とした図書館実習ガイドラインとモデルの提案
英語文化 コミュニケーション学科	赤塚 祐哉	講師	挑戦的研究(萌芽) 分担者 問い生成先行型の複数テキスト読解が生む推論の探求—考える市民を育てるために—
	依田 真美	教授	基盤研究(C) 分担者 システムックデザインを日本の社会課題へ適用するための方法論構築
	渡辺 幸倫	教授	基盤研究(C) 分担者 ミクロネシアと周辺地域の近現代史教育に関する研究—相互理解の形成を目指して
子ども教育学科	宇田川 久美子	教授	基盤研究(C) 代表者 保育における遊びの“おもしろさ”に関する研究
	荻本 快	准教授	若手研究 代表者 メンタライジングを測定する内省機能尺度(RFQ)の日本語版の開発
	Toth Gabor	教授	基盤研究(C) 分担者 注意欠如多動症のある児童生徒における腸内細菌叢と運動能力
	中内 麻美	講師	基盤研究(C) 代表者 インクルーシブ保育実践の可視化における自然的発達行動介入の応用可能性の検討
	宮野 雄太	講師	研究活動スタート支援 代表者 手指操作に困難のある知的障害児および自閉症児への固有覚による支援の効果
メディア情報学科	池下 花恵	教授	基盤研究(C) 代表者 創作アプリが言語活動にもたらす要因と読み書き支援への応用
		教授	基盤研究(C) 代表者 子どものための利用しやすい書籍を活用した読書環境の情報検索システムの開発
	岩下 朋世	教授	基盤研究(C) 代表者 少女マンガの表現様式の成立過程に関する歴史のおよび言説的検討
	加藤 由樹	教授	基盤研究(C) 代表者 電子メディア上でやりとりされるメッセージに基づく書き手と読み手の感情のモデル開発
		教授	基盤研究(C) 分担者 デジタル市民教育のためのSNSにおける誹謗中傷に関する基礎研究とシステム開発 挑戦的研究(萌芽) 分担者 グローバル市民性養成を目指すAI型オンライン評価システムの開発
	金 相賢	講師	基盤研究(C) 代表者 VR空間における視差量操作が認知過程に及ぼす影響
塚田 修一	准教授	基盤研究(C) 代表者 首都圏の在日米軍基地周辺地域における「国際化」に関する社会学的研究	
	准教授	基盤研究(C) 分担者 「限界芸術」化するアイドルの資料アーカイブ整備及び総合的なメディア文化史的研究	
生活デザイン学科	門屋 博	教授	基盤研究(C) 分担者 アンビルト作品の可視化に向けた創造的アート・アーカイブの試み
	角田 千枝	教授	基盤研究(C) 分担者 乳がん患者の衣服選択を支援するスマートミラー開発のための基礎研究
社会 マネジメント学科	木本 玲一	教授	基盤研究(C) 代表者 太平洋戦争期の日本のボクシングに関する研究:統制と競技の実践
		教授	基盤研究(C) 分担者 首都圏の在日米軍基地周辺地域における「国際化」に関する社会学的研究
	後藤 美緒	准教授	若手研究 代表者 占領期における地方メディアと知識人に関する歴史社会学的研究
	中西 泰子	教授	基盤研究(C) 代表者 家族意識の長期的変容における地域性の関連メカニズムの解明
		教授	基盤研究(B) 分担者 食物アレルギー患者とその家族が経験する困難についての混合研究
	肥後 梨恵子	講師	基盤研究(C) 代表者 大学におけるボランティア教育(サービラーニング)の深化による市民力育成の開発
	松崎 吉之助	准教授	基盤研究(C) 代表者 持続可能な民生委員活動支援のための基礎的研究—生活と活動の両立課題の分析—
准教授		基盤研究(B) 分担者 医療機関を起点とした生活課題をもつ人への地域連動型支援プログラムの開発研究	
湧口 清隆	教授	基盤研究(C) 代表者 観光列車と沿線地域の持続可能性—協働メカニズムの「見える化」に関する実証研究—	
人間心理学科	伊東 俊彦	教授	基盤研究(C) 代表者 当事者性とその表現—精神障害当事者のアート活動についての哲学的研究
	加藤 健生	助教	研究活動スタート支援 代表者 学齢期児童のスクリーンタイムと内在化・外在化問題の関連を紐解く睡眠習慣
	後藤 和宏	教授	基盤研究(B) 分担者 メタ認知の適応的意義を探る:構成論的手法による仮説探索と実験による検証
	芝田 征司	教授	基盤研究(C) 分担者 自然体験活動による健康促進:自然との心理的つながりを媒介変数として
	日戸 由刈	教授	基盤研究(C) 分担者 自閉スペクトラム症者への選好性尺度およびそれに伴う支援法の開発と支援効果の検証
健康栄養学科	山本 絵里子	講師	基盤研究(C) 代表者 教育学的リズムダンスの創作:発達認知科学的研究
	榎本 ヒカル	教授	基盤研究(C) 代表者 「住まい方知」の構成要素把握と住居学学習のこれからのあり方に関する研究
		教授	基盤研究(C) 分担者 和の住まい方教育に関する基礎的研究—和の生活文化の継承と創造を目指して—
	海和 美咲	助手	基盤研究(C) 分担者 共食頻度に着目した過剰なやせ願望予防・改善プログラムの開発
	片平 理子	教授	挑戦的研究(萌芽) 代表者 こどもの「居場所」における「食」を起点とした持続的・包摂的な支援システムの構築
	笹田 周作	教授	基盤研究(C) 代表者 四肢の体性感覚制御によるスプリントパフォーマンス改善の試み
堤 ちはる	准教授	基盤研究(B) 分担者 ハイリスク乳児に対する食物アレルギー発症予防のための離乳食開発研究	
管理栄養学科	吉田 明日美	講師	若手研究 代表者 心理的ストレスとエネルギーバランスの正負の関連及び内的・外的要因の寄与の解明
	黒岡 尚徳	教授	基盤研究(C) 分担者 消化管上皮の発生・分化原理の理解に基づく化生発症メカニズムの解明
	藤崎 香帆里	助教	若手研究 代表者 フードサービスにおける食品安全文化の評価方法と教育プログラムの開発